

新年のご挨拶



田中英機 プロフィール
昭和17年岡山県生まれ、国学院大学文学部卒業。
文化庁伝統文化課・芸術文化課主任文化財調査官を経て実践女子大学文学部教授(日本芸能史)
現在くらしき作陽大学客員教授、藝能学会常任理事等。
平成28年地域文化功労者表彰(文部科学大臣)

新年の密か事

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21 代表理事 田中英機

一陽来復、皆さまとともに新年を寿ぎたく存じます。ことしは元号も改まり、世変りの年でもあります。当法人も15周年を経て、新しい折目をつけて前進する、新しい歳月の始まりでもあります。心一新して歳の初めをお祝いしたいと存じます。

さて、昨年7月に当職に就いて、まだ半年足らず。いたずらに時間ばかり経過しているようにも思われますが、それでも楽しみの実感をもっております。15周年を記念する「邦楽・夢・未来コンサート」企画制作の準備会が実際の事始めとなりました。その実行委員会での委員諸氏の自由で活発な意見交換、和気あいあいのうちに、結論が自然に導き出されていく合議の爽快さ。相互の厚い信頼感あつての事の運びが、嬉しくなつてつい鼻唄さえ出る気分。ネットワーク21会員の底力を見る思いがし、この底力の結集をもって、記念コンサートを盛会裡に成功させたいものと、今はひたすら念じ居ります。

いわずもがな、日本の音楽伝統は盛んに見える一面もありますが、内実は衰微に向ってひた走りに走っているかにも見えます。そうはさせじと食い止める底力を当法人はもちたい、よし微力であっても、かくありたいというのが新年の密か事。明治以来、150年かけて失った大切なものを取り戻す、その元年にしたいと密かに願う年頭でもあります。

6.2 「邦楽・夢・未来コンサート2019」特別ゲスト演奏曲ご紹介



宮田耕八郎作曲「鶴の巣ごもり」 宮田耕八郎

きびしい自然の中で子育てをする鶴に託して親子の愛を謳った、この題名の曲は様々に伝承されています。楽譜もテープレコーダーも無かった頃の尺八本曲の伝承とは、伝えた人々の感性や技倆によって様々に変化し、伝承と創作を縋り交ぜたものなのです。この曲は1972年から始まった日本音楽集団の海外公演に際し、尺八の魅力を生かした作品をと思い1973年に私が作曲し又ノンサッチレコードから世界に広まりましたので、多くの尺八奏者がたつきり古典だと思って演奏しています。



野坂操壽作曲「二十五絃箏曲 津軽」 野坂操壽

津軽三味線で一世を風靡した高橋竹山さんの「新じょんから」を起点として作った曲です。竹山さんが若い頃門付けをしながら過ごした冬、「雪と風と波だけサ」と呟かれた彼の地を想い、人の営みを思い、大自然の中でやがて来る春を願って作った曲です。1986年5月 韓国ソウルで初演しました。この曲を弾くたびに竹山さんの話を思い出します。「三味線は生き物だ 棹も糸も撥も全部其々の命をもらって私たちは音を出しているんですヨ 曲を作る時も私はネ、三味線と相談するんだ」 私が箏に対して、演奏というものに対しても持った悶々とした悩みは消え、やがて全てが明確に整理されていきます。竹山さんのしわがれ声が明るく響きます。天才的なリズム感をもった凄い奏者でした。壮絶な人生でもありました。

讃美歌 「アメイジンググレイス」 藤原道山

作曲者は不詳で、アイルランドかスコットランドの民謡を掛け合わせて作られたという説や、19世紀に南部アメリカで作られたとするなど、諸説があります。その曲に奴隷船の船長であったジョン・ニュートンが改心して牧師になった際、歌詞をつけたと言われていいます。現在、賛美歌やゴスペルとして歌い継がれている作品で、タイトルは「大いなる恩恵」という意味です。曲は尺八の開放音と同じペンタトニック(五音音階)で作られており、尺八で演奏するのはとてもしっくりします。デビュー当時から大切に演奏している作品です。



新会員 ご紹介



鎌澤さくら

高校の部活動でお箏をはじめ、楽しみながら続けています。これから、様々な曲に出会えることにわくわくしています。この演奏会で「幻の柱」を演奏させて頂ける機会に恵まれて大変光栄に思っております。良い演奏となるよう全力を尽くしてがんばります。何分にも未熟者ですので、折にふれていろいろと御指導賜りますようお願い申し上げます。



下谷峰子

3年前に初めて合宿に参加者させて頂き、以来、毎年合宿を楽しみにしております。6月に開催されるNPO法人邦楽指導者ネットワーク21発足15周年記念のコンサートは、豪華なゲストの方々のナマの演奏に触れることの出来るまたとない機会なので、今からとても楽しみです。これからはミュージック ナイチンゲール活動や「伝統文化親子教室」などにも参加させて頂きたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。



齊藤博

小学生の頃より尺八に親しんでいましたが、一旦やめ、16歳で出会ったボディビルに全力を投じました。34歳で父である民謡尺八の家元齊藤龍海に師事。その後米谷流米谷幸太先生に師事。45歳の時に2代目齊藤龍海を襲名。52歳の時に宮田耕八朗先生の音楽性に魅力され、習い始め、今年で22年経ちました。民謡・三曲・ポップスなど幅広い演奏を楽しんでいます。

愛のカンパ助成金



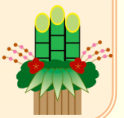
当団体は平成27年度より、邦楽ネットワーク21の「発展と普及のために」申請活動を行い、厳選なる段階（支援対象となる9つの社会貢献活動などの基準あり）を経て、愛のカンパ中央助成金を頂くことができました。

本部事業やナイチンゲール活動の一部として活用させて頂いております。今後も更にNPO法人邦楽指導者ネットワーク21を活性化させ、「連合・愛のカンパ」を社会に還元できますように有効活用していきたいと思っております。

（連合・愛のカンパ）とは、「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けた社会貢献活動として取り組むもので、NGO・NPO団体などの事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています（連合ホームページより引用）

編集後記

初めての編集作業でしたが、皆さまにご協力いただきながら、無事に発行することができました。原稿を取りまとめいただきました皆さま、ご指導いただきました皆さま、ありがとうございました♪ M.M



【支援団体ご紹介】

熊本支部代表 古川郁代	狛江支部代表 渡辺実	山口支部代表 松崎 妙子	調布支部代表 石森康雄	加茂支部代表 高橋 理香
八王子支部代表 小林 千恵子	兵庫県柳の会 鈴木晴柳	大阪府箏糸会 今村慶子	埼玉県日本文化の会 戸塚順子	愛知県彩楓会 佐藤友相
東京都 平成尺八塾 高野義彦	箏音楽合奏団 指揮者 石森康雄	静岡県 箏曲妙の会 佐野 妙子	福島県 桐音会 後藤礼子	愛知県 箏曲明由の会 山本明由子
東京都箏曲恭音会 坂本恭子	山形県彩音会 菅原綾子	東京都みなりの会 原田真樹子	東京都夢の会 田代せつ子	東京都箏曲あさの会 望月亜紗子
沖縄県峰の会 下谷峰子	沖縄県咲峰の会 伊良波 咲峰	埼玉県桐の会 仲林光子	(学)小牧幼稚園園長 小林 牧江	新潟県箏曲翔の会 坂田翔祐
愛媛県 鶴鳳会 向井正次郎	神奈川県 箏曲都の音会 川端 都	東京都 箏曲かつの会 村田美果	神奈川県 箏パウロニアの会 山本芳子	東京都 三味線長唄 智の会
宮城野楽器店代表 白澤 功 Tel044-922-3439	山形屋琴三絃店代表 日原 仁 Tel055-252-2110	(有)明鏡楽器代表 渡辺 嬢 Tel03-3623-6349	琴光堂和楽器店代表 中島 昌之 Tel0266-52-2341	榊千代田第一工業 会長 鈴木達雄 Tel03-3488-4211

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21 〒107-0062 東京都港区南青山1-26-16-506 TEL&FAX 03-5771-8128

※「たより32号」担当：原田・柴田、総合デザイン：村田

信州総文祭 平成30年8月9日～11日

☆第42回高等学校全国総合文化祭長野大会・東京都合同で初参加!!

＜東京都高等学校文化連盟日本音楽部門事務局より＞

今年度第42回高等学校全国総合文化祭長野大会に東京都高等学校文化連盟日本音楽部門より東京都合同チームとして参加するにあたり、邦楽指導者ネットワーク21よりご指導頂きましたことを幸甚に存じます。

これまで東京都は高等学校全国総合文化祭に2校参加させて頂いて参りましたが、開催県の事情が厳しくなったことにより出場校数に上限が定められ、47都道府県に1校、開催県と次年度開催県にもう1校、その他の出場可能枠は抽選により希望都道府県へ2団体目の出場が認められるようになりました。昨年度の抽選により東京都は1校出場となり今年度長野大会では合同チーム1団体の参加となりました。2021年には高等学校全国総合文化祭東京開催がすでに決定しており、合同チームによる視察を兼ねた参加はその数年前より他県の開催県の例も参考に話し合いを重ね、準備が進められて参りました。

初の合同チームに名乗りを上げたのは都立白鷗高校、都立狛江高校、創価高校、青稜高校、都立東久留米総合高校の5校です。都立白鷗高校は長唄三味線部、その他の4校は箏曲部です。練習環境も流派もまったく異なる5校を前に果たして長野大会に無事、出場することができるのか不安ばかりの出発でしたが流派を超えたご指導の下、これまでライバルであった高校生たちが協力し、ひとつの演奏を完成させることができました。これもひとえに厳しくも愛情深いご指導及び「色種変容」(藤井凡太先生作曲)という曲への情熱の賜物と深く感謝しております。高校生たちはこの経験を通し、多くのことを学ぶことができました。そして当部門にとって東京大会成功に向けて貴重な一歩となったことは間違いありません。今後も高校生の文化活



◆参加生徒の声

※ 以下信州総文祭感想文集より引用

白鷗高校 1年 三絃

はじめ、この話を聞いた時に、お箏と合わせるなんて楽しそう、と思いました。でも、顔合わせのとき、大会の規模の大きさを知り、お箏について行けなくて、不安になりました。練習が始まってからも、チューナーを使うことや、お箏と合わせるために変えなくてはならないことなど知らないことが多く、音をピツパリ合わせるのも大変で少しキツイと感じたこともありました。でも、箏との演奏が楽しくなり、かっこいいお箏を間近で感じる事が嬉しくて、大変な時も頑張れたのだと思います。(後略)

狛江高校 2年 箏

(前略) 合同チームになると聞いて正直、楽しみというよりは驚きの方が大きくて、たった6回の練習で全国大会の舞台で人に聞かせる演奏ができるのか・・・と心配でたまりませんでした。(中略) 私は、たとえ都でトップレベルの学校が集まって演奏してとしても、ひとつのチームとして団結しなければ聞いている人の心に届く演奏はできない、ということ学びました。(中略) 少ない練習の中であそこまでの合奏をつくって下さった指導者のおかげです。

創価高校 2年 十七絃

初めに東京合同チームとして全国大会に出ると聞いた時は、正直不安だらけでした。初対面の他校の生徒と一緒に弾いて音は合うのか、たった6回の練習で曲は完成するのか、他校の生徒と仲良くなれるか、と。(中略) しかし、練習を重ねるうちにだんだん音も合ってきて、他校の生徒とも少しずつ話せるようになりました。(中略) 厳しく指導して下さったコーチも、私たちの演奏をより良いものにして、また私たちのためにたくさん考えて下さっていたんだと思い、本当に感謝しています。本番は、笑顔で最高の演奏をすることができました。(後略)



青稜高校 2年 箏

まさか私が全国大会で演奏するなんて・・・(中略) 最初の合同練習で他校とのレベルの差に正直怖さを感じ、これからついていけるのか心配になったのを覚えています。でも練習を重ねるにつれ、熱意に溢れた優しい先生のご指導に何度も頑張ろうと思えることができました。「最初は出来なくても大丈夫よ」「慣れていない人もいるから覚えるまでやりましょう」とかけられた声は少なからず未熟な私に向けられていた言葉だったのだらうと思います。(中略) 活動期間中は一人で参加した私を常に誰かが気遣ってくださいました。この短い期間で出会えた温かい方々に、心から感謝いたします。ありがとうございました。

都立東久留米総合高校 2年 箏

私は東京合同チームの一員として全国大会に参加して、たくさんのものを得ることができました。(中略) 私は最初で最後になるこの25人のメンバーで、最高の演奏を全国大会という舞台に響かせたいと強く思いました。それからの練習は厳しいものでした。でもそれは先生がもっと良いものにしようと熱を注いでくれたからです。そのおかげで、私は音楽の楽しさや演奏できることへの喜びを感じることができました。(中略) 本番の9分間はあっという間に過ぎてしまいました。弾いている時は精一杯で本当に楽しかったです。(後略)

◆参加校教員より

・ハイ!なんてすばらしいの・・・
あの9分間、興奮がシナプスを伝わって、銀河を巡る光になった。
あなたたちは、なんだってできる。

・皆さんの意気込みを感じられる演奏でした。出会って、ほぼ4か月で・・・私は練習過程を見ていませんが、最初は戸惑いも多くあったと思いますが、お互いを知ることから始まり、1つの曲を作り上げようとする熱意が昇華した一瞬だったのではないかと想像いたします。(中略) 若い力っていいな。若い力ってすごいな。(中略) 2年後、3年後には違うメンバーになってしまうけれど感じた感動、苦勞、情熱、技術を、是非後輩に語り継いでください。

ミュージック・ナイチンゲール活動

「ミュージック・ナイチンゲール」の名づけ親として一言 西角井 正大



私どもNPOは総務庁管轄下の全国的な組織であることに鑑み、発足にあたり目玉事業の1つとして都道府県単位の支部でそれぞれ統一的な振興事業を行っていただくことにしたのですが、その事業内容を分りやすく親しみやすく表すネーミングが求められたわけです。そこで日本だけでなくおそらく世界中の人が知っている白衣の天使ナイチンゲールのお名前をいただいて「ミュージック・ナイチンゲール」と名付けたわけでした。ナイチンゲールを有名にしたのは、日本の幕末にあたる1853～1856年（明治維新は1868）のクリミア戦争での看護活動です。トルコ、英、仏、サルディニアの4ヶ国とロシアがクリミア半島を主戦場に、ロシア兵10万、連合軍7万が戦死するという凄惨な戦争でした。ナイチンゲールはイギリスの裕福な家の娘でしたが、農民の貧苦の生活を知って慈善運動を志し看護師となり、悲惨さが語られるクリミアに38人の看護師を率いて赴き2年間活動しました。＊ロシアは近年クリミア半島をウクライナから奪取しましたね。彼女はこれを統計的に整理して統計学者の評価も得ました。慈善イコール無給ボランティア（犠牲）のように受け取られがちですが、「犠牲なき献身」つまり正当な対価を得るべきと言っているのです。我がミュージック・ナイチンゲールも犠牲奉仕でなく、適切な対価を得て活動しましょう。



邦楽アンサンブル「和の響」 関谷 業

聴衆者に歌って頂く1部と演奏を聴いて頂く2部構成。1部では皆さんに大きな声で歌って頂き、コンサートに参加への強い参加意ができました。2部では日本の音楽と世界の音楽を箏尺八で演奏しました。箏尺八で筑紫歌都子句の柱を演奏。その他に童謡、ポップス、ジャズ、ラテン音楽を演奏しました。和楽器でこんな素晴らしい演奏が出来ることに皆様は驚いていました。



福寿会 戸塚順子

客席と演奏者が近く緊張しましたが、13絃と17絃で音域に厚みのある演奏だったと喜んでいただきました。アンコールもいただきました。資生堂ジャパンとのコラボ企画で、隣の部屋ではメイクアップ講座が開催されました。障害を持っている方も健常者の方も、明るいメイクアップと音楽の楽しさで、ウィークポイントをチャームポイントにすることで自分自身の自信に繋げ、積極的に人とコミュニケーションが取れるようになることを目的とした会でした。



箏曲あさの会 望月亜紗子

一番喜んで頂けたのが「ふるさと」の曲で、利用者の皆さんが歌詞カードなくて歌える曲とのことで、手拍子をしながら、お箏の演奏と合わせて歌って頂きました。この曲は歌いたいなどとリクエストがあるおかげで、聞いてくださるだけではなく、参加型になり、利用者の皆さんと一体感が生まれました。また17絃箏の演奏を聞くのが初めてな方ばかりだったので、低音の音が迫力があっていいと好評の声を頂きました。



箏曲かつの会 村田美果

秋晴れの中、日野市にある夢ふうせんまつり2018にボランティア演奏に伺いました。軽度の障がい者の方、重度の障がい者の方と2回演奏しましたが、皆様体でリズムを取るなど大変喜んで頂きました。演奏が終わった後に、車椅子で箏の場所まで移動されてきて、箏の形や爪などに大変興味を持って頂き楽しくお話をしました。この施設で作っている菓子を頂きましたが、とても美味しかったです。



桐音会 後藤礼子

郡山の中心にある教会で、キリスト教の信者とは関係なく、気持ちを病んでいる人、心閉ざしている人、今家族とうまくいっていない人、友達とうまくいっていない人などなど・・・みんな集まれ～そんなコンサートでした。箏と十七絃にフルート・バイオリン・ピアノ・オペラを交えて、曲目はバイオリンと箏でビリーブ、秋桜、見上げてごらん夜の星を、フルートと箏で春の海、まりと殿様、ヴィヴァルディの四季など、童謡はオペラの方にも歌っていただき全員で演奏し、みなさん大変喜んで頂きました。



平成尺八塾 高野義彦

初めての依頼であったが、以後12月まで毎月の実施をお願いされた。同じ施設ということで訪問日を月から日曜までまんべん無い予定を組んだが、毎回同じ顔触れで、毎回新規プログラムでの対応となった。



妙の会 佐野 妙子

毎年、隔月の訪問を楽しみに待って下さい。ひな祭りお楽しみ会には、お雛様を飾って下さり、七夕祭りでは 短冊に願いを書いて飾り付けを楽しみ、時には三絃も加わり沖縄メドレーなど聴いて頂き、季節ごと選曲して訪問します。生演奏を聴いて時折、昔お箏を弾いた事のある方が、とても懐かしく思い語ってくれます。その一日を癒され楽しんで頂ければ私達も嬉しい限りです。



熊本お琴教室アンサンブル 錦水きよみ

回を重ねるごとにセンターの皆さまもリラックスして聴いてくれる気がします。毎回、移動できる方はお顔を動かして一生懸命こちらを見ている姿が胸が痛みます、看護師さんを通じてリクエストもあつたので、来年も伺えるように準備したいと思っております。今年で4回目の訪問になりました。最初の頃は知らない楽器等も多かったこと拒否反応を示す方もいましたが、次第に心待ちに思っていることと違っていただいております。療育センターと交流させていただくことで、色々な考えを巡らせていく機会を巡らせて感謝しております。



理音会 高橋 理香

伝統を守りながら発展を目的として、豪農の館伊東家（一財）北方文化博物館との共同企画で毎年開催しております。今年度は、理音会の会員と「加茂邦楽こども教室特別教室」として加茂邦楽こども教室の受講生も共に演奏をしました。北方文化博物館は、大藤の夜間ライトアップ時の入館料が小学生以下無料、中学生以上はライトアップ協力金（100円）のみで入館できるため、家族連れやゴールデンウィークで帰省中のお客様が、大勢来館します。恒例行事となった箏ウィンドシアターコンサートを目当ての方も大勢お出で下さり、箏曲の発展のための良い機会にしてゆきたいと思っております。



長唄智の会 今藤政智

華やかなクリスマスイルミネーションが街を彩る12月2日、「智の会」初となるX'masチャリティーコンサートを東京の調布市で開催しました。カクテルドレスでクラシック曲「ベートーヴェンの第九」や「ラデツキ一行進曲」のほか「マンゴNo.5」「コーヒールンバ」「真田丸」「花は咲く」等をピアノとクラボ演奏しました。フィナーレはサンタ衣装で「クリスマスメドレー」を演奏し、ご来場いただいたお客様に喜んでいただきました。当日の様子は「三味線とピアノによるクリスマスチャリティーコンサート」としてテレビでも放送されました。集まった募金は調布市社会福祉協議会に全額寄付させていただきましたことをご報告申し上げます。



ゲストプロフィール



尺八 宮田耕八朗

尺八奏者・作曲家。流派に属さず独自の技法を開拓。伝統音楽の発展的継承と新しい日本音楽の想像を目指して、「日本音楽集団」を結成。国内・海外公演等幅広く活動。合奏研究会を主催し流派を超えて全国の尺八・箏・三絃の教授者・愛好者を集め交流と向上を図る。「みずほのうた」「キビタキの森」「矢部の郷」「田毎の月」など日本の農業及び生命の讃歌を主題とした作品を数多く発表。全国的に演奏（尺八）・教授・講習等を行い、作品も広く愛好されている。

二十五絃箏 野坂操壽

初代野坂操壽から手ほどきを受け、九才で加藤柔子氏に古典箏曲・地歌三絃を師事。東京藝術大学修士課程修了。1965年第1回リサイタル、日本音楽集団団員(1982年迄)。1969年二十五絃箏を開発。芸術祭奨励賞。1971年芸術祭優秀賞、1991年二十五絃箏を発表。1992年松尾芸能賞優秀賞。1994年より伊福部昭氏に師事。1996年～2006迄東京藝術大学非常勤講師。2002年芸術選奨文部科学大臣賞。2007年全ての演奏活動を「野坂操壽」で行うこととする。2009年旭日小綬章。2010年第24回野坂操壽箏リサイタルを開催。2011年日本藝術院賞。学位は音楽修士。生田流箏曲松の実會主宰、桐朋学園芸術短期大学芸術科教授、生田流協会理事、公益社団法人日本三曲協会常任理事、文化功労者。本名、および、旧芸名は野坂 恵子



尺八 藤原道山

10歳より尺八を始め、人間国宝 山本邦山に師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学大学院音楽研究科修了。2001年アルバム「UTA」でCDデビュー。10周年記念ベストアルバム「天-ten-」、シュトイデ弦楽四重奏団との共演「FESTA」他多数をリリース。様々な可能性を求め、坂本龍一、ケニー・G、野村萬斎などアーティストとのコラボレートを積極的に行う。ソロ活動では、『武士の一分』にゲスト・ミュージシャンとして音楽に参加、『ろくでなし啄木』（三谷幸喜作・演出）や『スーパー歌舞伎Ⅱ ワンピース』（四代目市川猿之助）などの舞台音楽を手掛ける。原点とオリジナリティを追求しながらもジャンルを超えた音楽活動を展開。現在、東京芸術大学音楽学部非常勤講師



舞台監督 清水美輝

東京都八王子市出身 洋舞（バレエ・モダンダンス・児童舞踊）や邦舞（日本舞踊・民俗舞踊の公開展示・新舞踊）など、各地区の連盟や、個人が主宰する研究所（スタジオ）の公演・発表会の舞台監督。また、日本舞踊・新舞踊の音響も手がける。

日本民俗芸能協会理事（総務担当）、日本舞踊ダンサーズネットワーク（ND net）副代表

東京都八王子市出身 1965年4月6日生 校成学園高等学校、東京経済大学経営学部卒業後の1989年NHK入局。奈良、松山、大阪に勤務。「スタジオパークからこんにちは」「0655」「ラジオ朝いちばん」「音楽夢倶楽部」「ちきゅうラジオ」をはじめ、「芸術劇場」「芸能花舞台」「につぼんの芸能」など、主に伝統芸能系の番組を担当してきた。現在は札幌放送局で、「おはよう北海道 土曜プラス」キャスターを務める。大学3年のときに国税専門官の試験に合格。しかし、大学の先輩・相川浩元NHKアナウンサーの影響を受けて 放送局受験を決意した。「アナウンサー仕事の流儀」（2013年8月26日時点のアーカイブより）NHK札幌放送局での勤務は入局時からの希望で、入局28年目になって実現した。

司会 古谷敏郎



打楽器 望月太喜之丞

東京生まれ。長唄・三味線を柀屋佐之忠師に、長唄囃子を望月太喜雄師に師事。東京芸術大学音楽学部別科長唄囃子専攻終了。1984年に二世望月太喜之丞を襲名。1987年日本音楽集団に入団。団員として現代邦楽の演奏活動。邦楽パーカッションリストとして、歌謡曲・ジャズ・ロックなど、ジャンルを問わない演奏活動も行なっている

♪プログラムによせて・・・



宮城道雄作曲「編曲八千代獅子」原田眞樹子

編曲八千代獅子は、昭和27年に宮城道雄が合奏曲として編曲しました。私事ですが、体は60代なのに心は10代のまま成長しないためか、生き辛く途切れ途切れの筈人生でしたが、今日は雲の上のような存在の野坂操壽先生・箏を弾く皆さんの憧れの君の藤原道山先生・父のように慕っている（私が勝手にですが）宮田耕八朗先生、15周年のNPOの会員の方々の背中を見ながら、十七絃を弾く自分の立ち位置に幸せを感じています。



宮田耕八朗作曲「複協奏曲」東島啓子

30年くらい前に熊本の演奏会で、複協奏曲を拝聴しました。曲が新鮮で、大人気で迫力があり、素晴らしく感動したのを覚えています。今回15周年のコンサートでこの曲に参加でき、しかもプロの先生方と一緒にできるので、有難く思っています。北九州から11名でこの曲に参加させていただきます。今からみんなで練習に励みます。皆様にお会いするのを楽しみにしています。



福嶋頼秀作曲「童謡・唱歌メドレー」前田香織

この曲は平成24年度第8回合奏講習会の課題曲でした。参加者コンサートでこの曲を演奏することになっていて、夜中まで自主練に励んだ記憶が残っています。翌年の第9回でも合奏した、思い出の多い曲なので、ぜひ演奏したいと思い、この曲を選びました。四季にちなんだ曲を中心に、童謡・唱歌10曲で構成されています。新しいメンバーも加わり個人練習しながら、楽しんで聴いていただけるように、合奏します。



石森康雄作曲「浮かぶ雲にのり」石森康雄

演奏曲『浮かぶ雲にのり』は石森康雄作曲 琴音楽三部合奏曲で琴1・琴2・十七弦の3パートからなり約6分位の曲です。私の作曲する曲はこの曲のみならず全て五線譜を使用しています。今回は「石森康雄と琴仲間」9人で演奏予定です。雲が浮かび流れるのびやかな風景を眺め、その雲にのって下を見てみたいという思いを琴の調べにのせて表現しています。初演時はトレモロ奏などは固い音だったのですが、今では心地よい音色に響いています。



長沢勝俊作曲「秋によせる三つの幻想曲」柴田裕子

長澤勝俊先生がお亡くなりになって、10年の歳月が過ぎました。NPO講習会にも参加して下さった先生は、心に響く、美しく温かみのある、躍動感溢れる数多くの曲を残して下さいました。今回長沢先生の曲をということで、秋に寄せる三つの幻想曲を選曲しました。第一章秋霖・美しい紅葉に静かに降る霧雨、第三章黄葉・黄色く色づいた葉っぱがひらひら舞い落ちる様子。不安ながら、7人のアンサンブルが力を合わせて取り組みます。



森岡章作曲「京人形」石田敦子

京人形は、日本伝統和楽器の箏の魅力の後世に残した森岡章先生が作曲した曲です。森岡先生は、箏・尺八・ピアノ・ヴァイオリン・打楽器の合奏曲を数多く作り、心に響くメロディーで多くの人に愛されている作曲家です。京人形は、子どもからお年寄りまで年齢を問わず楽しく聞ける曲なので、演奏したいと思い選びました。美しいアンサンブルを皆様に聞いていただけるように練習に励んでいます。



筑紫歌都子作曲「幻の柱」関谷 栄

「幻の柱」は、九条武子の歌に、筑紫歌都子が曲を付けたものです。大学時代に、この曲を聞いて感動し、今回演奏させて頂くことにいたしました。この曲は、女性の心の奥に潜む苦悩、過去への慕情、現在の葛藤を表現しています。独奏、唄、合奏、掛け合いなど多くの聴かせどころがあります。それぞれの段の構成を考えながら、どのように表現したら良いか工夫しています。本番には、一番良い演奏になるように頑張ります。



安藤美紀編曲「カルメン」後藤礼子

5年前桐音会メンバー・幼稚園児から大人まで20数名でドイツ演奏旅行に行き、本場の音楽をということで、オペラハウスでオペラカルメンを鑑賞しました。初めて見るオペラに感動し、いつかはカルメンを演奏したいと思いました。今回はその感動を皆さんに聞いてほしいと思い、選曲しました。現在楽譜を制作中で、出来たところから練習しています出演者の半分は小中学生ですが、原曲に近づけるように頑張っています。



宮田耕八朗作曲「有明の海」吉岡千恵子

宮田耕八朗先生の素晴らしく豊かな曲「有明の海」を選曲したのは、10年位前に長崎や平戸へ旅した時に、最後に有明の海を見ることが出来たからです。各家の軒には玉ねぎが干してある風景、夕方茜色に輝く海に海苔の養殖の杭がまるで影絵のような風景、この養殖に尽くしたイギリスのキャサリンメアリーードル女子は、海苔産地では養殖の母と呼ばれ、1957年に亡くなりました。海に対する祈りを込めて、演奏させていただきます。



長沢勝俊作曲「飛騨によせる三つのバラード」岩下昌代

飛騨地方に幾度か行き「杉玉」を見つけるたびに（大きいなあ）と感動します。街並みはタイムスリップしたかのような木造の建物。さるぼぼという猿の赤ちゃんの人形が可愛くて、今も我が家にあります。飛騨の夏は涼しく冬は大雪に閉ざされる。酒造り、とろとろの温泉、茅葺きの屋根。この曲には、飛騨地方が持つ私の想いがそのままあるように思います。現地で前回知り合った方たちとの合奏が心待ちで、楽しい時間になるでしょう。



渡辺泰子編曲「沖縄メドレー」三村紀子

沖縄は旅行で訪れた事があります。浅瀬が続く、ずっと遠くまで青い海。それだけで、もう、その自然に感動して、涙したのは素の心に戻れたからだと思います。そのような土地で生まれた沖縄メドレーの中の歌の数々は、演奏していても心にジーンと染み入ってきます。みんなが集まって、歌って、踊って、笑顔になって。そのような時には、うってつけの曲の数々であると思います。さあ、皆さん一緒に歌って踊りましょう。